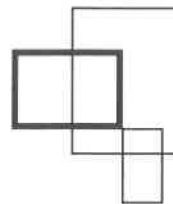
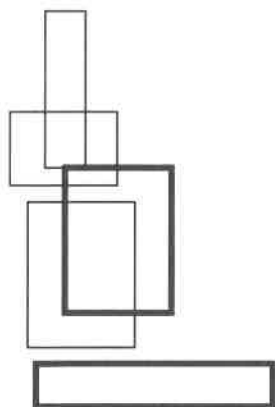




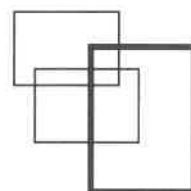
Matsuyama
Business
College



松山デザイナー専門学校 ファッションビューティ学科



2022 年度 シラバス



名前

※一年間、各自保管すること

服飾家政専門課程 ファッションビューティ学科(令和4年度2年生用)

必修/ 選択	区分	科目名	種別	ファッションデザイン 専攻 2年			ファッションビジネス 専攻 2年			ネイル・メイク 専攻 2年			
				前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	
必修	学科共通												
		キャリアゼミ	講義	30		2	30		2	30		2	
		FBゼミⅢ	実習	30		1	30		1	30		1	
		FBゼミⅣ	実習		30	1		30	1		30	1	
		卒業研究Ⅰ	実習		60	2		60	2		60	2	
	専攻	ファッションデザイン研究Ⅲ	実習	30		1	30		1				
		ファッション英会話	講義	30		2	30		2				
		テキスタイルⅠ	実習	30		1							
		服飾造形Ⅴ	実習	60		2	60		2				
		服飾造形Ⅵ	実習	120		4							
		デザイン画Ⅲ	実習	30		1	30		1				
		パターンメイキング3級筆記検定対策Ⅰ	講義	15		1							
		パターンメイキング3級実技検定対策Ⅰ	実習	30		1							
		アパレルCADⅠ	講義	30		2							
		立体裁断Ⅰ	実習	30		1							
		ショーヘアメイク実技・理論Ⅰ	実習				60		2	60		2	
		化粧品学	講義				30		2	30		2	
		スタイリストワークⅢ	実習				60		2				
		ショップマスターⅠ	講義				30		2				
		VMDⅠ	講義				30		2				
		Mac実習Ⅰ	実習				30		1				
		ネイル実技・理論Ⅴ	実習							120		4	
		ネイル実技・理論Ⅵ	実習							30		1	
		サロン研究Ⅱ	実習							60		2	
		アロマセラピー	講義							45		3	
		マーケティング	講義		30	2		30	2				
		服飾造形Ⅶ	実習		30	1			30	1			
		服飾造形Ⅷ	実習		180	6							
		パターンメイキング3級筆記検定対策Ⅱ	講義		15	1							
		パターンメイキング3級実技検定対策Ⅱ	実習		30	1							
		アパレルCADⅡ	講義		15	1							
		ショーヘアメイク実技・理論Ⅱ	実習					30	1		30	1	
		ショーヘアメイク実技・理論Ⅲ	実習								30	1	
		エアブラシメイク	実習					30	1		30	1	
		パーソナルカラー	講義					15	1		15	1	
		スタイリストワークⅣ	実習					90	3				
		ショップマスターⅡ	講義					30	2				
		VMDⅡ	講義					30	2				
		Mac実習Ⅱ	実習					30	1				
		ネイル実技・理論Ⅶ	実習								120	4	
		ネイル実技・理論Ⅷ	実習								30	1	
		サロン研究Ⅲ	実習								75	2	
		ビューティワークⅡ	実習								30	1	
					465	390	34	450	405	37	405	450	32
		必修科目 合計			855			855			855		
	選択	専攻	Mac実習Ⅰ	実習	30		1				30		1
ワンピース制作Ⅰ			実習							60		2	
Mac実習Ⅱ			実習		30	1					30	1	
エアブラシメイク			実習		30	1							
ワンピース制作Ⅱ			実習							60		2	
選択科目 合計													
年間合計時間/単位数			855			855			855				

- 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	キャリアゼミ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	杉内 絵梨佳、他教員			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ学科共通 2年		
授業科目の テーマと目的	就職活動で求められるマナーの習得と、自己アピール力をアップする為に実践授業を行う。						
学習到達 目標	就職内定獲得。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	書類作成		履歴書、自己PR書作成				
3・4	面接対応		面接練習・実践				
5～15	就職対策		各々の就職先に対応した模擬面接、実技試験対策				
使用テキスト 教材・教具	オリジナル教材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬面接試験40%、履歴書作成30%、自己PR書30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	FBゼミⅢ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野幸美、神田瑞穂、智内菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ学科共通 2年		
授業科目の テーマと目的	7月中旬に行われるファッションショー作品の撮影を学生自らが構成し、シューティングをするうえで必要な項目を理解し運営する。						
学習到達 目標	自身がイメージするビジュアルの企画、撮影、編集の作業がひと通りできるようになる。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	作品制作撮影		撮影イメージ考案、調査、ロケハン				
3・4	"		ヘアメイク、スタイリング考案				
5～9	"		撮影				
10～14	"		編集				
15	"		発表・フィードバック				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	イメージマップ30%、スタイリング考案30%、発表40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	FBゼミⅣ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野幸美、神田瑞穂、智内菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビューティ学科 共通 2年		
授業科目の テーマと目的	2月中旬に行われるファッションショー作品の撮影を学生自らが構成し、シューティングをするうえで必要な項目を理解し運営する。						
学習到達 目標	自身がイメージするビジュアルの企画、撮影、編集の作業がひと通りできるようになる。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	作品制作撮影	撮影イメージ考案、調査、ロケハン					
3・4	〃	ヘアメイク、スタイリング考案					
5～9	〃	撮影					
10～14	〃	編集					
15	〃	発表・フィードバック					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	イメージマップ30%、スタイリング考案30%、発表40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	卒業研究Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	これまでの学生生活の集大成となる作品を創り、作品集とポートフォリオに残す。						
学習到達 目標	卒業進級制作展で作品発表。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	卒業進級制作		デザイン考案、デザインブック制作				
5～12	〃		パターン、仮縫い準備、審査会				
13～28	〃		修正、本縫い、仕上げ				
29・30	〃		まとめ、スタイリング				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	デザイン画20%、デザインブック20%、パターン20%、作品40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	卒業研究Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂、井上 彩夏			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	これまでの学生生活の集大成となる作品を創り、作品集とポートフォリオに残す。						
学習到達 目標	卒業進級制作展で作品発表。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	卒業進級制作		デザイン考案				
5			審査会・プレゼン				
6～23			作品制作				
24～28			仕上げ・ディスプレイ				
29・30			まとめ・ポートフォリオ				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク・ネイル教材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、展示25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションデザイン研究Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美、神田 瑞穂、智内菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	デザインや素材への調査・研究、制作技術の研鑽を図り、センスや感性を磨く。						
学習到達 目標	自身の意見や考えをデザインブックや資料を作り、伝えることができる。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	アパレルライン デザイン考案		コンセプト設定、資料作成、デザイン考案				
2			進捗確認、フィードバック				
3			デザインブック作成				
4			コンペ準備				
5	アパレルライン デザイン考案		発表、フィードバック、修正				
6・7			最終デザイン				
8・9	校内デザインコンテスト デザイン考案		コンセプト設定、資料作成、デザイン考案				
10			進捗確認・フィードバック				
11			デザインブック作成				
12	校内デザインコンテスト コンペ		コンペ準備				
13			発表・フィードバック・修正				
14・15			最終デザイン				
使用テキスト 教材・教具	A4ファイル、USB、他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	資料作成30%、デザイン考案30%、デザインブック40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッション英会話			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	南原 寿枝美 (株式会社サザンフィールド)			時間割	水曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	近年増えてきた海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様と英語で対応するために、販売員として必要な基本的な英会話を学ぶ。						
学習到達 目標	接客中に受けることが多い質問に対して、英語で対応できる力を身に着ける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	基本フレーズ	「いらっしゃいませ」から始まる接客の基本フレーズ					
2	役立つ定番フレーズ	「お気に召しましたか」など、特によく使う定番フレーズ					
3・4	売り場案内	売り場はどこか、商品を扱っているか、Wi-Fiが使えるかなどに答える					
5・6	商品案内(1)	買いたい商品や好みを聞く、別のサイズや色について答える					
7・8	商品案内(2)	鏡に映す、試着を案内する、似合っているかどうかなどを伝える					
9・10	商品案内(3)	丈詰めなどの提案をする、在庫がない場合の対応など					
11・12	レジでのフレーズ	支払い方法を確認する、プレゼント包装を頼まれた場合の対応など					
13・14	その他よく聞かれる質問	商品の免税について、免税手続きについて、返品対応など					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	とにかくひとこと英会話(販売編)旺文社編						
参考図書 参考文献	キクタン接客英会話(販売編)アルク出版						
成績評価の 方法・基準	小テスト40%、修了テスト60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	ロールプレイングに積極的に参加する。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	テキスタイルⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	テキスタイルは、実用的なものからアーティスティックなものまで奥深く表現ができる。また、Tシャツやバッグ、生地など身近なものにも転用でき、「買っているもの」「使っているもの」から「創るもの」に変わっていく魅力を感じ、作品制作に活かす。						
学習到達 目標	テキスタイルの応用。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	プラ板	デザイン考案・制作					
2	墨流し	墨流しとは					
3・4	〃	墨流し考案・制作					
5・6	ディテールブック	3種考案 A4サイズ実物制作					
7・8	草木染	染色サンプル:玉ねぎ・若藍・茄子・緑茶・麦茶・紅茶・ハイビスカスティ					
9	〃	まとめ					
10	シルクスクリーン	デザイン考案					
11	シルクスクリーン 美術館	写真製版法:スクリーン張り					
12・13	〃	写真製版法:製版					
14・15	〃	写真製版法:刷り・落版					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート30%、作品70%（提出作品3点以上のデザイン性、ポートフォリオのまとめ方など）の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅴ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美、神田 瑞穂、智内 菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	パターンメイキングと運動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達 目標	オリジナル作品を制作する。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	作品制作①(15コマ) アパレルライン企業を想定した作品		製図、裁断、布の仮縫い				
4～14	〃		縫製～床上がり				
15	〃		スタイリング、まとめ、作品発表				
16～18	作品制作②(15コマ) アパレルライン企業を想定した作品		製図、裁断、布の仮縫い				
19～29	〃		縫製～床上がり				
30	〃		スタイリング、まとめ、作品発表				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材 他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、仮縫20%、完成度30%、スピード20%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	服飾造形Ⅵ	時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	大野 幸美、神田 瑞穂、智内 菜奈子	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年
授業科目の テーマと目的	服作りに関するさらなる知識・技術の習得を目指し、オリジナリティあふれる作品を制作。				
学習到達 目標	オリジナル作品を制作する。				
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	授業計画				
2～9	校内デザインコンテスト 2体展開(30コマ)		製図、裁断、トワル組み		
10～11	〃		審査会		
12～15	〃		修正、裁断		
16～24	〃		縫製		
25～28	〃		床上がり、仕上げ		
29～30	〃		スタイリング、まとめ、作品発表		
31～60	特別授業(30コマ)		野口先生製品研究		
			〈『ファッションデザイン研究Ⅲ』でデザイン考案〉		
使用テキスト 教材・教具	布、副資材 他				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、仮縫20%、完成度30%、スピード20%の比率で評価する。				
履修上の 留意点			検定試験の 概要		
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。				

授業科目	デザイン画Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	様々なコンテストに挑戦し、自分なりのデザインスタイルを見つけ、さらなる向上を目指す。						
学習到達 目標	デザインコンテスト入賞。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	デザイン発想		9つのデザイン発想の仕方(例:シャツワンピースを变形)				
2	〃		9つのデザイン発想の仕方、デザインブックのまとめ方				
3	ディテールブック		身頃、衿、袖				
4	〃		スカート、パンツ				
5	〃		ジャケット、ワンピース				
6	全国ファッション		デザイン発想、デザイン考案				
7	〃		デザイン考案				
8	〃		下書き、着色、まとめ				
9	〃		着色、まとめ				
10	日暮里ファッション		デザイン発想、デザイン考案				
11	〃		下書き、着色、まとめ				
12	新宿ファッション		デザイン発想、デザイン考案				
13	〃		デザイン考案				
14	〃		下書き、着色、まとめ				
15	〃		着色、まとめ				
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ペン、他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	アイデア発想力40%、作品評価60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキング3級 筆記検定対策 I			時間数 (コマ数)	15 (8)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	パターンメイキング技術検定試験3級の筆記試験対策を主な目的とし、パターンメーカーに必要な基礎要素・基礎知識・技術の習得。						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	既制服の概念	既制服の基礎知識とパターンメイキング用語について					
2	〃	既制服のパターンについて、既制服の寸法					
3・4	ファースト パターンメイキング	フラットパターンの基礎知識(身頃、スカート、袖)					
5・6	〃	ブラウスのパターンメイキング(縮尺)					
7	〃	ドレーピングの基礎知識					
8	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%により評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2022年12月10日(土)		
備考							

授業科目	パターンメイキング3級 実技検定対策Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	夏季休暇 集中開講	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	デザインブラウスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 オートクチュールでパタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方やシーチングの組み立てについて人体構造に基づき指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	パターンの理解		A.B ブラウス2点のパターンを理解、覚える				
6～15	実技練習		製図・シーチング組み立て一連の反復練習				
使用テキスト 教材・教具	シーチング、他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、スピード20%、作品による採点60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2022年12月10日(土)		
備考	夏休み中の集中授業。						

授業科目	アパレルCAD I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	玉井 牧子			時間割	隔週木曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ。						
学習到達 目標	アパレルCADを使いこなす。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして勤務実績のある講師が、その経験を活かして、アパレルCADの基本的な知識や操作方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	はじめに		CADについて説明				
2～6	パターンメイキング		デジタイザー入力、パターンの展開・出力				
7・8	〃		パターン修正				
9～12	グレーディング		Tシャツのサイズ展開				
13	マーキング		ジャケットのサイズ展開マーカ入れ				
14・15	まとめ		実技での総合テスト				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	操作手順習得状況50%、総合テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	立体裁断Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	隔週・月曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	スカートのドレーピング法を学び、オリジナルデザインに対応できるようにする。						
学習到達 目標	仮縫いのピン打ちができるようになる。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ドレーピングとは		ドレーピングの手順、基礎知識について講義				
2・3	フレアスカート		実技制作、パターントレース				
4・5	タイトスカート		実技制作、パターントレース				
6・7	デザインスカート		実技制作、パターントレース				
8～11	身頃、1枚袖		実技制作、パターントレース				
14・15	オリジナルデザインスカート		各自オリジナルデザインのスカートを考え、実技制作				
使用テキスト 教材・教具	シーチング						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、オリジナルデザインスカート50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ショーヘアメイク実技・理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子 (track time)			時間割	木曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビジネス専攻 2年 ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を復習しながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	テーマ別ヘアメイク		相モデルでヘアメイク				
2	テーマ別ヘアメイク		相モデルでヘアメイク				
3～5	メイク応用		メイクのみテーマを決めて				
6～8	ヘア応用		ヘアのみテーマを決めて				
9～12	グループ別ヘアメイク		グループを作り、担当を決めて作品作り				
13～17	グループ別ヘアメイク		グループを作り、担当を決めて作品作り				
18～20	メイク応用		テーマを決めてメイクのみ				
21～23	ヘア応用		テーマを決めてヘアのみ				
24～27	テーマ別ヘアメイク		テーマを決めてヘアメイク				
28～30	グループ別ヘアメイク		グループを作り、担当を決めて作品作り(連帯責任についての学習)				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	化粧品学			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	石綿 貴子 (株式会社 ルージュ・るー)			時間割	金曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビジネス専攻 2年 ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	CIDESCO インターナショナルエステティシャン、日本エステティック協会認定講師のエステティシャンが代表取締役を務める『株式会社 ルージュ・るー』と連携し、肌の構造と化粧品の特性や役割を理解し、ヘアメイクに活かす。						
学習到達 目標	化粧品の基礎知識を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 エステティシャンの資格を有し、エステティックサロンの運営・実務経験がある講師が、その経験を活かし、肌と化粧品に関わる知識について指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	基礎知識		化粧品成分表示の読み方 分類 効果効能				
2～4	基礎知識		化粧品の成分構成 ベース成分				
5	肌の仕組みと化粧品		肌のしくみ				
6～10	肌トラブルと化粧品		様々なトラブルと化粧品				
11	基礎知識		その他の成分				
12	応用		化粧品の読み解き				
13	応用		プレゼンテーション				
14	復習		総復習				
15	確認		筆記テスト				
使用テキスト 教材・教具	化粧品選びの常識が変わる！美肌成分事典(主婦の友社) 日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(主婦の友社)・日本化粧品検定2級対策問題集(日本化粧品検定協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題40%、筆記テスト60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	日本化粧品検定2級:2022年11月27日(日) 定期開催地(大阪)か特別開催地(高松もしくは松山)で受験		
備考	受験会場が高松の場合は、会場までの交通費を学校規定により後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。						

授業科目	スタイリストワークⅢ	時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	溪 裕子、越智 志のぶ	時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビジネス専攻 2年
授業科目の テーマと目的	スタイリストアシスタントとして、現場で必要な知識や情報、また即戦力となる技術を学ぶ。				
学習到達 目標	現場で通用する技術と知識を身につける。				
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1・2	スタイリスト概論Ⅰ				
3～5	ボディ・貸し出し				
6	着せ込み概論	アイロン、スタイリストバッグ、底張り			
7・8	実習①	ボディ着装・撮影			
9～11	実習②	モデル着装			
12～14	実習③				
15	テスト				
16～19	タイプ別実践	複数のタイプのお客様を見立てた販売実践			
20・21	PDCA	仕事をするうえでの大切なプロセスを学ぶ			
22	自己分析	自分自身を見つめなおし課題を発見する			
23・24	目標設定	課題解決の道筋を立てる			
25・26	発表	課題とその課題解決のためのプランの発表とすり合わせ			
27・28	目標中間すり合わせ	自己分析で発見した課題と解決目標に関しての中間すり合わせを行う			
29・30	プレゼン	作品制作(企画・テーマ設定・ヘアメイク衣装計画書・スタイリング・撮影)			
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク道具				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	スタイリング50%、販売実技50%の比率で評価する。				
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合がある。		検定試験の 概要		
備考					

授業科目	ショップマスター I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・コース・学年)	ショップマスターコース 1年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する。						
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	ショップマスター概論		ショップマスターとは、小売業、ショップマスターに必要な能力				
3・4	流行とブランド		流行とトレンド				
5・6	雑誌リサーチ		雑誌分析				
7・8	ファッションビジネス		OEMとODM				
9・10	業界の知識		世界の専門店				
11・12	//		世界三大SPA				
13・14	企業リサーチ		企業分析				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ファッション雑誌						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート30%、マップ30%、修了テスト40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	VMD I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	近年、インターネットやスマートフォン、SNSの普及により消費者行動は著しく変化を遂げ、オムニチャネルという利便性の高い購買環境が構築されたことにより、顧客がいつでもどこからでも商品を購入できるようになった。VMDの概念は、リアル店舗だけではなくバーチャル店舗においても重要であり、オムニチャネルに対応するVMDが今求められている。						
学習到達 目標	現場で活かせる技術と知識を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	ディスプレイの基礎		ビジュアルマーチャンダイジングとは、VMDの3つの要素(VP,PP,IP)				
3・4	〃		マーチャンダイジングとVMD				
5・6	〃		ハンギング、フォールデッド				
7・8	〃		ディスプレイツールとポップ制作				
9・10	〃		基本構成、テーブル什器の使い方				
11・12	〃		照明とディスプレイ				
13・14	ディスプレイ		ロビー展示				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品20%、レポート40%、修了テスト40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Mac実習 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	デザイン業務で必要不可欠なソフトであるAdobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。						
学習到達 目標	実際の現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	復習		Illustrator、Photoshopの操作方法の復習				
2～3	ポートフォリオ		ポートフォリオの考え方(構成・要素)				
4～5	〃		レイアウト				
6～7	〃		ハンガーイラスト				
8～9	〃		デザイン画着色				
10～11	〃		画像加工、編集				
12～13	〃		ポートフォリオまとめ				
14	まとめ		前期まとめ				
15	テスト		修了テスト				
			ファッションショーやイベントのDM作成				
使用テキスト 教材・教具	USB 4GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品70%、修了テスト30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅴ			時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)			時間割	月曜・火曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、JNECネイリスト技能検定試験1級の取得を目指す。						
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験1級取得。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	アクリルスカルプチュア 理論・実技		アクリルスカルプチュア用具用材の説明・理論・実技				
3～16	アクリルスカルプチュア		チップオーバーレイ				
17～30	アクリルスカルプチュア		ナチュラルスカルプチュア				
31～40	ミックスメディアアート		3Dアート(立体)とエンボス、ペイントを組み合わせたアート				
41～60	1級検定対策		スカルプチュア、チップオーバーレイ、ミックスメディアアート				
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム アドバンス(NPO法人日本ネイリスト協会) イクステンション用具用材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、実技模擬テスト40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験1級 2022年10月15日(土) 高松にて受験予定		
備考	受験会場が高松の場合は、会場までの交通費を学校規定により後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。						

授業科目	ネイル実技・理論Ⅵ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	井上 彩夏			時間割	水曜 4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	プロレベルのネイル技術を身につける。						
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験1級取得。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	ジェルネイル		グラデーションなどのテクニック				
5～7	イクステンション実技		イクステンション実技、復習				
8・9	3D・エンボス		3D、エンボスアート実技、復習				
10～12	作品制作		チップアート制作				
13～15	1級検定対策		イクステンション、3D、エンボスアート				
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム アドバンス(NPO法人日本ネイリスト協会) イクステンション用具用材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、実技30%、チップ作品40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験1級 2022年10月15日(土) 高松にて受験予定		
備考	試験会場までの交通費は、学校規定による交通費を後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。						

授業科目	サロン研究Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	井上 彩夏			時間割	水曜・木曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	化粧品の中身や成分に加え、ボディケア、ヘアケア、ネイル、香り、オーラルケアまで幅広く理解し、さらに化粧品にまつわるルールなど専門的な知識を学びます。						
学習到達 目標	化粧品科学を理解する。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	化粧品①		化粧品の歴史・原料				
3・4	化粧品②		スキンケア化粧品				
5～7	化粧品③		メイクアップ化粧品・ボディ化粧品				
8	復習①		化粧品①～③の復習				
9・10	ヘアケア製品		毛髪の構造・ヘアケア製品について				
11	ネイル		爪の構造・病気とトラブル・ネイル化粧品				
12・13	アロマ		香りの成分と働き				
14	復習②		ヘアケア・ネイル・アロマの復習				
15	オーラルケア		オーラルケアとケア製品				
16	サプリメント		サプリメントの基礎知識				
17	復習③		オーラルケア・サプリメントの復習				
18～22	化粧品④		化粧品の安全性・肌トラブル				
23・24	復習④		化粧品④の復習				
25～29	復習⑤		復習				
30	テスト		筆記テスト				
使用テキスト 教材・教具	日本化粧品検定1級対策テキスト(主婦の友社) 日本化粧品検定1級対策問題集(日本化粧品検定協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、理解力20%、筆記テスト60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	アロマセラピー			時間数 (コマ数)	45 (23)	単位数	3
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	隔週・金曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	アロマセラピーを自らが楽しみ、健康維持のために用いる知識の習得と、アロマセラピー検定2級資格取得を目指す。						
学習到達 目標	アロマオイルの理解。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	イントロ		香りを楽しむ				
2～4	アロマセラピーの基本		アロマセラピーの定義				
5～8	精油		精油のこと・作用・抽出法				
	〃		精油の選び方・香りの試し方				
	〃		精油と環境				
9～11	安全性		安全の心得				
12～16	実践		基材と用具				
	〃		利用法				
17～22	精油のプロフィール		原料植物グループの特徴				
	〃		2級対象精油				
23	修了試験		模擬テスト				
使用テキスト 教材・教具	アロマセラピー検定 公式テキスト(2019年1月改訂版) (公社)日本アロマ環境協会 エッセンシャルオイル 入門セット検定2級対応						
参考図書 参考文献	アロマセラピー検定 公式問題集 (公社)日本アロマ環境協会						
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、ノート30%、模擬テスト40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	AEAJ アロマセラピー検定 2級 2022年11月 実施予定		
備考	アロマセラピー入門編。初心者の方が、家庭でアロマセラピーを実践することを前提にしている。						

授業科目	マーケティング			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・コース・学年)	ファッションデザイン専攻 2年・ファッションビジネス専攻 2年 ファッションクリエイターコース 1年・ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッションブランドを立ち上げることを想定し、商品企画のために必要となるマーケティングを習得し、企画から販売までの総合理解と商品を販売展開する知識を習得する。						
学習到達 目標	実在するショップの課題、改善策を導き出し分析し、ブランド運営に於ける情報収集能力と分析能力を身につけることが出来る。また、マーケティングを理解しオリジナルブランドへと展開できる力を身につける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	マーケティングの基礎		マーケティングの定義、市場機会の発見				
4～6	STPマーケティング		セグメンテーション・ターゲティング、ポジショニング				
7～9	マーケティングミックス		マーケティングの4Pと言われる製品戦略、価格戦略、流通戦略 プロモーション戦略を学ぶ				
10	ブランド研究		ブランド化にしていく為に必要なスキル、ビジネスモデルを考察				
11	ブランド調査と分析		アパレル市場の現状やブランド定義について				
12	発想のヒント・デザイン発想		柔軟な思考と発想方法				
13	マーチャンダイジングの 基礎知識		マーチャンダイジングの理解 市場細分化(マーケットセグメンテーション)他				
14	ブランド企画		商品構成の検討、生産枚数、上代設定				
15	ブランド企画・合評		ブランド名・コンセプト決定				
使用テキスト 教材・教具	マーケティング用語図鑑 改訂版(新星出版社)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト40%、レポート提出60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	授業の内容を丁寧に復習し、次回の授業 に向けて予習をすること。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅶ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美、神田 瑞穂、智内 菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	パターンメイキングと運動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達 目標	卒業進級制作展で作品発表。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～4	自由制作(15コマ)		製図、裁断、布の仮縫い				
5～12	〃		縫製				
13・14	〃		袖付・床上がり				
15	〃		スタイリング、まとめ、作品発表				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、仮縫20%、完成度30%、スピード20%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	服飾造形Ⅷ			時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美、神田 瑞穂、智内 菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	服作りに関するさらなる知識・技術の習得を目指し、オリジナリティあふれる作品を制作。						
学習到達 目標	オリジナル作品を制作する。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～8	パンフレット(30コマ)		製図、裁断、布の仮縫い				
9～22	〃		縫製				
23～28	〃		袖付・床上がり				
29・30	〃		スタイリング、まとめ、作品発表				
31～38	ブランディング(30コマ)		製図、裁断、布の仮縫い				
39～52	〃		縫製				
53～58	〃		袖付・床上がり				
59・60	〃		スタイリング、まとめ、作品発表				
61～90	特別授業(30コマ)		野口先生製品研究				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、仮縫20%、完成度30%、スピード20%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	パターンメイキング3級 筆記検定対策Ⅱ			時間数 (コマ数)	15 (8)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	パターンメイキング技術検定試験3級の筆記試験対策を主な目的とし、パターンメーカーに必要な基礎要素・基礎知識・技術の習得。						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	工業用パターンメイキング	工業用パターンとは 工業用パターンの記号					
2	〃	工業用パターンの知識					
3・4	〃	工業用パターンメイキング					
5・6	グレーディング	グレーディングとは					
7	素材	素材の知識とパターンメイキング					
8	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト60%、検定筆記試験40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2022年12月10日(土)		
備考							

授業科目	パターンメイキング3級 実技検定対策Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	デザインブラスのパターンメイキング、トレース、シーチング組立て、ファーストパターン作成の一連の作業を3時間半でできるようにする。						
学習到達 目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 オートクチュールでパタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方やシーチングの組み立てについて人体構造に基づき指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～7	実技練習A		時間を計って、反復練習				
8～15	実技練習B		時間を計って、反復練習				
使用テキスト 教材・教具	シーチング他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題・作品による採点60%、検定結果40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	パターンメイキング技術検定試験3級 2022年12月10日(土)		
備考							

授業科目	アパレルCADⅡ			時間数 (コマ数)	15 (8)	単位数	1
担当教員 (資格等)	玉井 牧子			時間割	隔週木曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	特別設備のアパレルCADを使いこなし、企業のパタンナーでの就職に対応できるように学ぶ。						
学習到達 目標	アパレルCADを使いこなす。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 パタンナーとして勤務実績のある講師が、その経験を活かして、アパレルCADの基本的な知識や操作方法を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	パターンメイキング	デザインから寸法を考えパターンを作成する					
3・4	〃	指示書作成、寸法決め					
5・6	〃	サイズ変更後の寸法決め、グレーディング					
7・8	まとめ	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	操作手順習得状況50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ショーヘアメイク実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	高岡 笑子 (track time)			時間割	木曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビジネス専攻 2年 ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基本をおさえつつ、自ら創造し作品を作り上げていけるように学習していく。						
学習到達 目標	フルヘアメイク作品を90分で作れるようになる。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ショー用メイク		イベント・ショー対応 衣装に合わせたメイク				
2	ショー用ヘアアレンジ		イベント・ショー対応 衣装に合わせたヘアアレンジ				
3～5	ブライダルヘアメイク		トータルでブライダル作品を作る				
6	和装メイク		和装対応メイク				
7	和装ヘア		和装対応ヘア				
8～10	和装ヘアメイク		トータルで和装作品を作る				
11	作品作り①		テーマを決めて作品作り				
12・13	作品作り②		テーマを決めて作品作り				
14	作品作り③		テーマを決めて作品作り				
15	卒業用作品作り		個人でしっかり作品を作り上げる				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ショーヘアメイク実技・理論Ⅲ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	高岡 笑子 (track time)			時間割	火曜 3,4限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基本をおさえつつ、自ら創造し作品を作り上げていけるように学習していく。						
学習到達 目標	相モデルで実践を重ね、ヘアメイクの方法を他者へ伝えられるようになる。フルヘアメイク作品90分。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	実習①		企画・テーマ設定・ヘアメイク衣装計画書・スタイリング・撮影				
4～6	実習②						
7～9	実習③						
10～12	実習④						
13～15	実習⑤						
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する場合がある。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	エアブラシメイク			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	井上 彩夏			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビジネス専攻 2年 ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	エアブラシメイクを理解し基礎技術を身につける。						
学習到達 目標	基礎技術のマスター。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	イントロダクション		エアブラシメイクの特長、使用方法、洗浄方法				
2・3	実技①		ファンデーション(トラブルシューティング)、チーク				
4・5	実技②		アイシャドー、アイライン				
6・7	実技③		アイブロウ、リップ				
8	復習		フルメイクを相モデルで行う				
9・10	マスキング作成		ボディアート用のマスキングシートの作成				
11・12	ボディアート		マスキングを使用してボディアートを行う				
13・14	フルメイク		テーマに合わせたメイクを相モデルで行う				
15	テスト		相モデルでの実技テスト				
使用テキスト 教材・教具	プリント配布、エアブラシメイク共同教材一式						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、技術20%、実技テスト60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パーソナルカラー			時間数 (コマ数)	15 (8)	単位数	1
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビジネス専攻 2年 ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	色は人間の心や行動に様々な影響を与えている。その色のはたす役割や性質を理解し、実際に色を使いながら学習する。						
学習到達 目標	それぞれの使用目的に対応できる色彩知識について理解を深めお客様に対して的確なアドバイスができるようになることを目指す。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	パーソナルカラー	パーソナルカラーとは、アンダートーンについて、自己分析					
2	〃	スプリング、サマー、オータム、ウィンターの特徴					
3	骨格診断	骨格診断とは、自己分析					
4	〃	ストレート、ウェーブ、ナチュラルの特徴					
5～7	分析	芸能人のパーソナルカラー、骨格診断で似合うを提案する					
8	まとめ	発表・修了テスト					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	スタイリストワークⅣ	時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	2
担当教員 (資格等)	溪 裕子、越智 志のぶ	時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビジネス専攻 2年
授業科目の テーマと目的	スタイリストアシスタントとして、現場に必要な知識や情報、また即戦力となる技術を学ぶ。				
学習到達 目標	現場で通用する技術と知識を身につける。				
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレルショップのスタッフとして経験のある講師が、その経験を活かし、販売に関する基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1・2	スタイリスト概論Ⅱ	心理学			
3～5	実習①	浴衣着装・浴衣アレンジ			
5・6	実習②	AW(レディース)スカート着装			
7・8	実習③	AW(メンズ)パンツ着装			
9・10	洋服の扱い方	畳み方・セット組み			
11～14	実習④⑤				
15	テスト				
16・17	基礎知識	売上ツリー、接客8大用語			
18～20	接客基礎	購買心理8段階、挨拶、5W1H			
21～23	動的待機	たたみ、トルソー着せ替え、ポジショニング、声だし			
24～26	MDA	MDAについての基礎			
27～29		基礎知識、MDAロープレ			
30	テスト	修了テスト			
31～45	実習	作品制作(企画・テーマ設定・ヘアメイク衣装計画書・スタイリング・撮影)			
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク道具				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	スタイリング40%、販売実技30%、ヘアメイク30%の比率で評価する。				
履修上の 留意点	授業内容により、私服を準備する必要がある。		検定試験の 概要		
備考					

授業科目	ショップマスターⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・コース・学年)	ショップマスターコース 1年 ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する。 マップや、ショップ見学を通し、実際の現場の構成を把握し、リサーチ力と自分のプランを創り出す。						
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	経営管理・マネジメント		店長の仕事・スタッフ管理				
2	〃		人材育成				
3	〃		顧客満足度				
4	〃		売り上げ				
5	〃		適正利益				
6	〃		リスク回避				
7	〃		リーダーシップ				
8～15	課題研究・進級制作		企業分析計画・スケジュールリング				
	〃		リサーチ(ショップコンセプト・ブランドロゴ・商品内容・ショップ内装・販売方法・EC・SNSなど)				
	〃		組み立て				
	〃		プレゼン				
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ファッション雑誌						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	ノート30%、課題30%、課題研究40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	VMDⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	近年、インターネットやスマートフォン、SNSの普及により消費者行動は著しく変化を遂げ、オムニチャネルという利便性の高い購買環境が構築されたことにより、顧客がいつでもどこからでも商品を購入できるようになった。VMDの概念は、リアル店舗だけではなくバーチャル店舗においても重要であり、オムニチャネルに対応するVMDが今求められている。						
学習到達 目標	現場で活かせる技術と知識を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ディスプレイの提案		1月の課題と販売方法の提案				
2	"		2月の課題と販売方法の提案				
3	"		3月の課題と販売方法の提案				
4	"		4月の課題と販売方法の提案				
5	"		5月の課題と販売方法の提案				
6	"		6月の課題と販売方法の提案				
7	"		7月の課題と販売方法の提案				
8	"		8月の課題と販売方法の提案				
9	"		9月の課題と販売方法の提案				
10	"		10月の課題と販売方法の提案				
11	"		11月の課題と販売方法の提案				
12	"		12月の課題と販売方法の提案				
13・14	発表・フィードバック		1年間のVMD提案を発表する				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	VMD提案60%、修了テスト40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Mac実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	デザイン業務で必要不可欠なソフトであるAdobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。						
学習到達 目標	実際の現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	復習	Illustrator、Photoshopの操作方法の復習					
2～3	マップ作成	企業デザインからマップを作成					
4～7	ポートフォリオ	企業用					
8～13	ポートフォリオ	作品集					
14	まとめ	後期まとめ					
15	テスト	修了テスト					
		ファッションショーやイベントのDM作成					
使用テキスト 教材・教具	USB 4GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品70%、修了テスト30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅶ			時間数 (コマ数)	120 (60)	単位数	4
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)			時間割	月曜・火曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、トップレベルのネイリストとして必要とされる総合的な技能及び知識を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験1級の取得を目指す。						
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験1級取得。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～10	1級検定対策		スカルプチュア、チップオーバーレイ、ミックスメディアアート				
11～14	ジェルイクステンション		ジェルスカルプチュア				
15～34	ジェル中級検定対策		グラデーション、フレンチ、ジェルスカルプチュア				
35～38	アクリルスカルプチュア		ラメグラデーション				
39～42	アクリルスカルプチュア		フレンチスカルプチュア				
43～50	ジェルイクステンション		ジェルチップオーバーレイ				
51～60	作品制作		アートチップ制作				
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム アドバンス (NPO法人日本ネイリスト協会) イクステンション用具用材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、模擬テスト30%、検定試験40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験1級 2022年10月15日(土) 高松にて受験予定		
備考	受験会場が高松の場合は、会場までの交通費を学校規定により後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。						

授業科目	ネイル実技・理論Ⅶ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	井上 彩夏			時間割	水曜 4限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	プロレベルのネイル技術を身につける。						
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験1級取得。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～6	1級検定対策		イクステンション、3D、エンボスアート				
7～15	作品制作		チップアート制作(ジェル・3D・エンボス)				
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム アドバンス(NPO法人日本ネイリスト協会) イクステンション用具用材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、実技30%、チップ作品40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験1級 2022年10月15日(土) 高松にて受験予定		
備考	試験会場までの交通費は、学校規定による交通費を後日支給。 規定を上回る金額については自己負担。						

授業科目	サロン研究Ⅲ			時間数 (コマ数)	75 (38)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂・井上 彩夏			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	サロン実習を通して、サロンワーク、コミュニケーション能力を養う。						
学習到達 目標	サロン現場でプロフェッショナルの技術を学ぶ。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	実習の準備		接客、サロン運営の流れを考える				
2・3	サロンワーク①		準備				
4～11			サロン実習				
12・13			レポート作成				
14・15	サロンワーク②		準備				
16～23			サロン実習				
24・25			レポート作成				
26・27	サロンワーク③		準備				
28～35			サロン実習				
36・37			レポート作成				
38	実習のまとめ						
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	実技(準備)20%、コミュニケーション力20%、対応力30%、レポート30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ビューティワークⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	授業前半でアロマセラピー検定2級対策をする。後半は、ビューティ制作をし制作展で発表する。						
学習到達 目標	卒業制作展で作品発表をする。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	アロマセラピー		復習				
2・3	〃		模擬テスト①				
4・5	〃		模擬テスト②				
6・7	〃		模擬テスト③				
8・9	ビューティ制作		デザイン考案				
10	〃		審査会・プレゼン				
11～13	〃		作品制作				
14	〃		仕上げ・ディスプレイ				
15	〃		まとめ・ポートフォリオ				
使用テキスト 教材・教具	アロマセラピー検定 公式テキスト(公益社団法人 日本アロマ環境協会) ヘアメイク・ネイル教材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト50%、作品50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	AEAJ アロマセラピー検定 2級 2022年11月 実施予定		
備考							

授業科目	Mac実習 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションデザイン専攻 2年 ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	デザイン業務で必要不可欠なソフトであるAdobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。						
学習到達 目標	実際の現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	復習	Illustrator、Photoshopの操作方法の復習					
2～3	ポートフォリオ	ポートフォリオの考え方(構成・要素)					
4～5	〃	レイアウト					
6～7	〃	ハンガーイラスト					
8～9	〃	デザイン画着色					
10～11	〃	画像加工、編集					
12～13	〃	ポートフォリオまとめ					
14	まとめ	前期まとめ					
15	テスト	修了テスト					
		ファッションショーやイベントのDM作成					
使用テキスト 教材・教具	USB 4GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品70%、修了テスト30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ワンピース制作Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	自分だけのオリジナルワンピースを制作し、成り立ちを学習する。						
学習到達 目標	ワンピースを制作し、トータルコーディネートする。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	デザイン、生地選択		自分にあった、オリジナルデザインを考え、イラストに描く				
2～6	採寸、パターン		各デザインに必要な採寸を行い、パターンをおこす				
7～13	仮縫い準備		仮縫いをするためにシーティングで組立て				
14	仮縫い、補正		本人が着装して、仮縫いし必要なら補正でパターン訂正をする				
15	見積り、発注		必要な生地メーターを計算し、注文する				
16～30	裁断、縫製		できたパターンで裁断、制作していく				
使用テキスト 教材・教具	生地、糸、その他、副資材(実費負担)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	デザイン20%、仮縫い20%、作品途中採点60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	ワンピース制作Ⅱを履修する事。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	Mac実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションデザイン専攻 2年 ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	デザイン業務で必要不可欠なソフトであるAdobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。						
学習到達 目標	実際の現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	復習		Illustrator、Photoshopの操作方法の復習				
2～3	マップ作成		企業デザインからマップを作成				
4～7	ポートフォリオ		企業用				
8～13	ポートフォリオ		作品集				
14	まとめ		後期まとめ				
15	テスト		修了テスト				
			ファッションショーやイベントのDM作成				
使用テキスト 教材・教具	USB 4GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品70%、修了テスト30%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	エアブラシメイク			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	井上 彩夏			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ファッションデザイン専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	エアブラシメイクを理解し基礎技術を身につける。						
学習到達 目標	基礎技術のマスター。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	イントロダクション		エアブラシメイクの特長、使用方法、洗浄方法				
2・3	実技①		ファンデーション(トラブルシューティング)、チーク				
4・5	実技②		アイシャドー、アイライン				
6・7	実技③		アイブロウ、リップ				
8	復習		フルメイクを相モデルで行う				
9・10	マスキング作成		ボディアート用のマスキングシートの作成				
11・12	ボディアート		マスキングを使用してボディアートを行う				
13・14	フルメイク		テーマに合わせたメイクを相モデルで行う				
15	テスト		相モデルでの実技テスト				
使用テキスト 教材・教具	プリント配布、エアブラシメイク共同教材一式						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%、技術20%、実技テスト60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	履修者は教材代として、¥1,500自己負担。						

授業科目	ワンピース制作Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・専攻・学年)	ネイル・メイク専攻 2年		
授業科目の テーマと目的	自分だけのオリジナルワンピースを制作し、成り立ちを学習する。						
学習到達 目標	ワンピースを制作し、トータルコーディネートする。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☒ 有 ☐ 無		【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～23	縫製		縫製の続き				
24～26	床上がり		完成に近づいたところで試着、丈のバランスをみる				
27・28	仕上げ		飾りこみや、付属品を制作し完成させる				
29・30	スタイリング		スタイリング、撮影				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	生地、糸、その他、副資材(自己負担)						